

様式1		令和5年度 清瀬市立清瀬第三小学校		学校評価計画	
<b>学校の教育目標</b>		○よく考え やりぬく子ども(重点目標) ○やさしく 思いやりのある子ども ○明るく 元気な子ども		<b>育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動</b>	
<b>目指す学校像(ビジョン)</b>		【目指す学校像】 学ぶ楽しさのある学校 信頼でき、協働したくなる学校 働く喜びのもてる学校 【目指す児童・生徒像】 「他者と協働して主体的に問題を解決しようとする子ども」 【目指す教師像】 ◎共に学び合い、協力し合う教師 ・子供と共に歩む教師 ・互いに高め合う教師		【育成を目指す資質・能力】 「協働問題解決能力」 ○基礎的な力(言語、数量、情報スキル) ○他者と共に考える力(協働問題解決力、メタ認知) ○他者と共生できる力(人間関係形成力) ○社会の中で実践する力(社会参画力、自律的活動力)	
<b>前年度までの学校経営上の成果と課題</b>		・「誰にでも分かる授業づくり」の視点で三小スタンダードをもとに指導や教室環境の整備を継続することができた。協働問題解決能力の向上の土台となるように、校内研究では算数の「数と計算」についての個別最適な学習の研究を行う。体験学習など学校支援本部の支援による教育活動もさらに充実してきたが、課題としては、学習の土台となる基礎的・基本的な知識・技能の定着を進めることである。分かる授業づくりとともに、全校的な取組としての学び直しも実施し、学力の底上げを目指す。また、学校支援本部をはじめとする保護者・地域や専門家の方々と連携し体験活動を積み重ねさせる中で、教育活動全体を通して基礎的なスキル、思考力・判断力・表現力、人間関係形成力、社会的実践力などの力を意図的・計画的に育むことに取り組む。また、今年度は児童の災害時対応の意識を高める活動を計画する。			
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	「三小スタンダード(学習)」と「学び直し」を生かし、学習意欲の向上と基礎基本の確実な定着を目指す。	学び方や学び合いを大切にしてい、児童一人一人の課題に取り組む授業づくりを行う。  校内研究では、算数の「数と計算」領域の学び直しのための学校全体での取組や各学年・学級における指導の工夫に取り組む。	児童の実態に応じて「三小スタンダード(学習)」を活用し、学習活動についての効果を検証し、実践に生かす。  校内研究での取組や算数パワーアップの時間に学び直しを行い、定期的に効果を検証する。	4 ほぼ毎時間の授業において実施、検証	4 めあてを達成した課題への取り組み方できる児童80%以上
				3 実施率80%以上	3 めあてを達成した課題への取り組み方できる児童70%以上
				2 実施率60%以上	2 めあてを達成した課題への取り組み方できる児童60%以上
				1 実施率60%未満	1 めあてを達成した課題への取り組み方できる児童60%未満
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、思いやりの心と社会性をもつ児童を育てる。	互いに認め合い、共生できる力を育成する。  人権に配慮し、いじめや暴力・暴言のない学校づくりをすすめる。	「挨拶と返事」が大切にできるよう学年・学級で取り組む。相手を「くん・さん」つけて呼び、温かい言葉かけをする。  いじめ未然防止の取組を毎学期行う。(3年生以上は年2回のアセスを実施し、検証する)	4 全学年全学級で実施	4 児童の自己評価で、達成度90%以上
				3 実施率80%以上	3 児童の自己評価で、達成度80%以上
				2 実施率60%以上	2 児童の自己評価で、達成度70%以上
				1 実施率60%未満	1 児童の自己評価で、達成度70%未満
健やかな体の育成	「三小スタンダード(生活)」を生かし、望ましい生活習慣を身に付け、体力の向上と健康増進を目指す。	運動意欲を向上させる授業づくりや運動時間の確保をすすめ、体力向上に努める。  点検や保健指導を通して健康的な生活習慣づくりを図る。	体育集会・外遊びの充実と体育の授業における児童の意欲を喚起する教材や指導法を工夫する。  生活リズム点検、メディアコントロール点検の結果等を使って、児童と保護者に対して生活習慣への啓発を行う。	4 全学年全学級で実施	4 「運動することが好き」と回答する児童90%以上
				3 実施率80%以上	3 「運動することが好き」と回答する児童80%以上
				2 実施率60%以上	2 「運動することが好き」と回答する児童70%以上
				1 実施率60%未満	1 「運動することが好き」と回答する児童70%未満
特別支援教育の充実	個に応じた特別支援教育の実現と特別支援教育の理解促進を目指す。	「三小スタンダード」に基づき、個に応じた指導やユニバーサルデザインの視点で指導法の改善を図る。  交流及び共同学習の実施と児童・保護者へのきらり・そよかぜの理解啓発と情報発信を行う。	校内委員会での情報を基に「三小スタンダード」を生かした学習の流れの見直し、分かりやすい板書、発問の精選、振り返りを行い、分かりやすい授業を展開する。  毎月取組を行い、連絡帳、学年だより、学校だより、HPで情報発信を行う。理解啓発授業は全学年で行う(年1回以上)。	4 「わかる授業」を90%以上の授業で意図的に行っている	4 児童の「学習がわかる」肯定的回答80%以上
				3 「わかる授業」を80%以上の授業で意図的に行っている	3 児童の「学習がわかる」肯定的回答70%以上
				2 「わかる授業」を70%以上の授業で意図的に行っている	2 児童の「学習がわかる」肯定的回答60%以上
				1 「わかる授業」を意図的に行ったのは70%未満である	1 児童の「学習がわかる」肯定的回答60%未満
本校の特色	豊かな「ふれあい」を通して、他者と進んで関わろうとする児童を育てる。地域と連携し、地域に開かれた学校を実現する。	児童間の交流、地域や保護者と連携し、教育活動を充実させ、他者と共生できる力を育成する。  学校情報を地域・保護者に積極的に発信する。	異学年交流を図ると共に、学年ごとに地域人材や保護者等との参画型授業・出前授業等を計画的に工夫して行う。  学校だより、学年だより、保健だより、給食だよりの他、学校ホームページ、メール配信等で情報を発信する。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 児童の満足度の評価A(90%以上)
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	3 児童の満足度の評価B(80%以上)
				2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上	2 児童の満足度の評価C(70%以上)
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 児童の満足度の評価D(70%未満)
				4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上	4 保護者の肯定的評価A(90%以上)
				3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上	3 保護者の肯定的評価B(80%以上)
				2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上	2 保護者の肯定的評価C(70%以上)
				1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	1 保護者の肯定的評価D(70%未満)